

■交読 詩篇5篇1～12節

- 1 私のことばに耳を傾けてください。主よ。私のうめきを聞き取ってください。
- 2 私の叫ぶ声を耳に留めてください。私の王私の神私はあなたに祈っています。
- 3 主よ朝明けに私の声を聞いてください。朝明けに私はあなたの御前に備えをし仰ぎ望みます。

- 4 あなたは悪を喜ぶ神ではなくわざわざいはあなたとともに住まないからです。
- 5 誇り高ぶる者たちは御目の前に立つことはできません。あなたは不法を行う者をすべて憎まれます。
- 6 あなたは偽りを言う者どもを滅ぼされます。主は人の血を流す者や欺く者を忌み嫌われます。

- 7 しかし私はあなたの豊かな恵みによってあなたの家に行きあなたを恐れつつあなたの聖なる宮に向かってひれ伏します。
- 8 主よ私を待ち伏せている者がいますからあなたの義によって私を導いてください。私の前にあなたの道をまっすぐにしてください。
- 9 彼らの口には真実がなく心にあるのは破壊です。彼らの喉は開いた墓。彼らはその舌でへつらうのです。

- 10 神よ彼らに責めを負わせてください。彼らが自分のはかりごとで倒れますように。その多くの背きのゆえに彼らを追い散らしてください。あなたに逆らっているからです。
- 11 どうかあなたに身を避ける者がみな喜びとこしえまでも喜び歌いますように。あなたが彼らをかばってください御名を愛する者たちがあなたを誇りますように。
- 12 主よまことにあなたは正しい者を祝福し大盾のようにいつくしみでおおってくださいます。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 出エジプト記 19章 1～6節

1

"エジプトの地を出たイスラエルの子らは、第三の新月の日にシナイの荒野に入った。

2

彼らはレフィディムを旅立って、シナイの荒野に入り、その荒野で宿営した。イスラエルはそこで、山を前に宿営した。

3

モーセが神のみもとに上って行くと、主が山から彼を呼んで言われた。「あなたは、こうヤコブの家に言い、イスラエルの子らに告げよ。

4

『あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。

5

今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。

6

あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。』これが、イスラエルの子らにあなたが語るべきことばである。"

■聖歌407「見よ われは立ちて」

①見よ われは立ちて なが戸をばたたく
迎えよ わが身を ながやに ながやに

※心の かけがね なにゆえ はずさぬ
迎えよ わが身を ながやに ながやに

②見よ われは なれの 罪をば にないて
十字架にかかりし イエスなり イエスなり

③見よ 手の痛手を 見よ このいばらを
ことごと ながため うけたり うけたり

④見よ われは なれに 良きものを 与う (あとう)
ゆるしと 安きと 愛をば 愛をば

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈禱 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝禱 心の中で祝禱を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上にとこしえにありますように アーメン」